



山形市立第八中学校
校長 畔上 大

< 令和 8年度 学校教育目標 >

創造・貢献・自立

～地域と繋がり、新しい時代を拓く生徒を育てる学校～

創 造

自ら学び、考え、表現する生徒

貢 献

自他のいのちを敬い、地域に貢献する生徒

自 立

向上心にあふれ、主体的に行動する生徒

～ ご あ い さ つ ～

今年度、本校校長となりました畔上 大（あぜがみ はじめ）です。

本年度は、1年生29名を迎え入れ、2年生30名、3年生25名、全校生徒84名で新年度が順調に動き出しました。これまでの学校教育目標「創造・貢献・自立 ～地域と繋がり、新しい時代を拓く生徒を育てる学校～」を継承し、その具現化を目指して日々の教育活動に取り組んでまいります。

さて、私が今年度のスタートに八中生に話したことを紹介します。

『非認知能力を身に付けていくには、自身の心の中をよく見つめ、どんな力が高まったのかをしっかりと分析することが大切です。高めようとした力がなかなか身についてなければ、どうして自分の力にならなかったのか振り返ることも重要です。

何かをするときに、より良くしようとか、工夫して進めようという自己調整力にも多くの非認知能力が含まれています。どんなささいな活動でも、自分自身で意識して行動し、非認知能力を高めていってほしい。』

八中生それぞれの良さを引き出し、さらに伸ばし、明るい学校になるよう、本校教職員一丸となって頑張る所存です。めざす子ども像を共有し、地域と学校とがともに手を取り、子どもたちが一層輝けるようにしていきたいと考えています。これまで以上に地域と保護者の皆様のお力添えをいただけますよう、お願いいたします。

令和8年4月